

押部谷住吉神社
OSHIBEDANI

秋の例大祭

江戸時代末期より継承されている

伝統の獅子舞・ふとん太鼓を是非お楽しみください。

平成28年

10月8日(土)

宵宮 午後5時より

午後6時
午後7時

布団太鼓宮入り
獅子舞奉納

10月9日(日)

本宮 午前10時より

午後12時
午後1時
午後2時
午後2時30分

布団太鼓宮入り
獅子舞奉納
餅まき
神事 神輿御渡

※時間は変更になる場合があります

細田西獅子

押部谷町細田西の獅子の歴史は古く、江戸時代末期からあったと言われている。平成21年の後幕の新調など、修復を重ねながら昔ながらの獅子を守っている。細田の獅子の特徴として、七色の髪があげられる。この珍しい七色の髪は、獅子が舞う度に揺れ動くのでとても美しく、躍動感のある獅子舞を演出している。

青年の人数が減ってきているが、今後も細田の獅子舞を守ってきたい。



細田東太鼓

押部谷町細田東のたいこの歴史はとても古い。今のたいこは100年ほど前に譲り受けたものであるが、それ以前からたいこはあったと言われている。また、今年から電飾をLEDに変えるなど、新しいものも取り入れている。

担ぎ手が少なくなり、以前と比べると勢いがなくなってきたが、住吉神社の宮元地区として、昔ながらのたいこ伝統を守ってきたい。



押部谷町高和上のたいこは、少なくとも江戸末期から存在し、とても歴史のあるものである。昔は高和だけでたいこ2台、獅子2体を所有していたが、現在は高和上がたいこ、高和下が獅子を持つのみとなった。

昭和20年の大水害などを経験し、修繕を繰り返しながら今の形となっている。



高和上太鼓

押部谷町高和下の獅子舞は歴史が古く、今は約20人の青年団が中心となって獅子舞を担っている。小学生の時からおかめの面を被って舞い、経験を積んで獅子の中に入る。小中高生も楽しんで練習に参加し、獅子舞を通じた世代間の交流にもなっている。

若手の減少や維持経費などの問題はあるが、今後も伝統ある高和の獅子舞を守ってきたい。



高和下獅子

養田獅子

押部谷町養田の獅子舞は、約65年前に高和から舞いを教わり、青年会を中心に始まった。

獅子頭のベースは赤だが、2年に一度金箔を塗って鮮やかな金色を保っている。養田の獅子は牙があるのが特徴で、住吉神社に奉納される細田、高和の獅子と異なっている。



西盛太鼓

押部谷西盛のたいこは平成11年に新調した比較的新しいものである。水引幕や高欄掛などは、三木市岩宮の片より譲り受け、刺繍を張りなおして使用し、昼の提灯も自作するなどして現在の形となっている。

住吉神社への宮入は平成12年から行っており、宮入に際しては、水色の法被を着た神輿当番の応援を得ている。



押部谷 住吉神社

秋の例大祭

交通：神坂バス西神中央・押部谷駅・緑が丘行き「細田住吉前」下車北へ徒歩3分 車でもお越しいただけます

獅